株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
株主確定基準日	3月31日 その他必要があるときは、予め公告いたします。
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL　http://www.aandd.co.jp
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

＜郵便物送付先・お問い合わせ先＞

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行　証券代行部
電話お問い合わせ先		0120-288-324（フリーダイヤル）
お取扱店		みずほ信託銀行　全国本支店 みずほインベスターズ証券　全国本支店
	未払配当金のみ、みずほ銀行　全国本支店でもお取扱いいたします。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取以外の株式売買はできません。

株主の皆さまの声をお聞かせください

株主さま向けアンケート

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記ＵＲＬにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 7745

いいかぶ　検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。（株式会社 a2mediaについての詳細http://www.a2media.co.jp）※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」
TEL：03-5777-3900（平日 10:00～17:30）
MAIL：info@e-kabunushi.com

A&D Company, Limited

PRINTED WITH SOY INK
地球環境に配慮した大豆油インキを使用しています

株式会社エー・アンド・デイ

第35期　中間報告書

（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

東京証券取引所市場第一部上場
証券コード：7745

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。また、この度の東日本大震災により被災されました皆様に対しまして、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

第35期（平成24年3月期）第2四半期決算をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響によるサプライチェーンの寸断や電力供給不足による生産活動の低下、消費活動に対する自粛ムード、政治の混迷等により、先行き不透明な状況となりました。海外におきましては、新興国の著しい経済成長を背景に順調な面がある一方、ギリシャの財政危機、米国経済の停滞等により、一層の円高や株安が起こりました。

このような状況の中、当社グループでは、既存市場の深耕拡大に努めるとともに、新市場の開拓や新規顧客の獲得に注力し、また、市場ニーズの変化に対応した新技術・新製品の開発を積極的に推進してまいりました。経費面では、製造原価の低減に努めるとともに、研究開発費を含む経費削減に取り組んでまいりました。

この結果、第2四半期連結累計期間における売上高は13,904百万円（前年同期比2.9％減）、営業損失は59百万円（前年同期は営業損失240百万円）、経常損失は379百万円（前年同期は経常損失460百万円）、四半期純損失は491百万円（前年同期は四半期純損失590百万円）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の厳しい業績を踏まえ、株主の皆様への中間配当につきましては見送りとさせていただきました。株主の皆様には深くお詫び申し上げます。

今後におきましては、欧米経済の停滞、円高など、当社グループを取り巻く環境は引き続き厳しく推移するもとの思われます。このような状況の中、当社は引き続き新規市場の開拓や新規顧客の獲得に尽力し、開発面では、ユーザーニーズを的確に捉えた新技術の企画提案を行い、生産面では海外生産を推進し原価低減に努めてまいります。また、人件費やその他の経費の削減や設備投資の絞り込み等により固定費の削減に努め、収益の改善を図ります。

まず既存事業におきましては、計量機器・計測機器が堅調に推移しておりますが、今後もマーケット別製品の企画・開発を推進し、新製品の投入など積極的に事業を展開し、市場の維持・拡大を目指してまいります。健康機器につきましては主要マーケットであるロシア・米国等において、現地通貨ベースでは堅調に推移しているものの、円高の影響から円ベースでは前年を下回る結果となっておりますが、一層のコストダウンを推進し、収益の確保に努めてまいります。

一方新規事業であるDSPにつきましては、主要顧客である日米の自動車関連メーカーが震災や景気後退の影響で上期は低調な推移となりましたが、国内は8月以降引合いが増加しており、これを受注に繋げるべく努力してまいります。

これらの施策によって、通期業績見通しは連結売上高30,200百万円、営業利益1,000百万円、経常利益500百万円、当期純利益230百万円を予定しております。

株主の皆様には、今後とも格別のご理解と変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役　執行役員社長
古川　陽

営業の概況

計測・計量機器事業

	売上高（百万円）	売上高割合	業績のポイント
計測機器			国内は節電対策の影響から温湿度計や熱中症指数計が好調で大幅に売上を伸長。試験機は汎用試験機に加え物性試験機等にも回復が見られ堅調に推移。
計量機器			国内は東日本大震災の影響により設備投資の延期や中止が想定されたが、ロードセル、電子天秤及び台秤の売上はそれぞれ好調に推移。海外は米国・インドで電子天秤がジュエリー・ゴールド関連市場向けに好調を維持。
DSP事業			国内は震災後、自動車メーカーを中心に設備発注の延期・見直し等により低調な推移。海外も米国政府の自動車業界支援策の縮小及び景気後退の影響で低調に推移。
半導体関連			半導体市況の回復が弱く、低調に推移。
合計			

医療・健康機器事業

	売上高（百万円）	売上高割合	業績のポイント
医療機器			国内はメディカル計量器及び携帯型血圧計の売上が好調に推移。海外は中国及び韓国で携帯型血圧計や全自動血圧計を中心に堅調に推移。
健康機器			国内は調剤薬局向けは堅調な売上となったが、大口契約終了等の影響もあり低調な推移。海外は米国の大手流通向けや退役軍人協会向けが好調、またロシアについては、現地通貨ベースでの売上は堅調に推移したものの、円高の影響等から円ベースでの売上は前年同期を下回る結果。
合計			

連結売上高

1株当たり純資産

連結経常利益

1株当たり四半期（当期）純利益

連結四半期（当期）純利益

自己資本比率

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期 平成23年9月30日現在	前第2四半期 平成22年9月30日現在	前期 平成23年3月31日現在
資産の部			
流動資産	25,029	23,593	25,421
現金及び預金	4,587	3,664	4,421
受取手形及び売掛金	7,461	7,568	8,837
有価証券	0	0	0
商品及び製品	5,037	5,137	5,020
仕掛品	3,724	3,622	3,549
原材料及び貯蔵品	2,520	2,562	2,364
繰延税金資産	563	103	596
その他	1,359	1,245	953
貸倒引当金	△ 224	△ 311	△ 322
固定資産	11,383	12,257	12,038
有形固定資産	7,576	8,011	7,807
無形固定資産	2,698	3,105	3,031
投資その他の資産	1,108	1,140	1,198
資産合計	36,412	35,851	37,460
負債の部			
流動負債	21,361	20,848	21,162
固定負債	4,052	4,033	4,049
負債合計	25,414	24,882	25,211
純資産の部			
株主資本	13,523	12,995	14,123
資本金	6,388	6,372	6,372
資本剰余金	6,404	6,388	6,388
利益剰余金	2,296	1,800	2,928
自己株式	△ 1,565	△ 1,565	△ 1,565
その他の包括利益累計額	△ 2,555	△ 2,053	△ 1,907
少数株主持分	30	27	32
純資産合計	10,998	10,969	12,248
負債純資産合計	36,412	35,851	37,460

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期（累計） 自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	前第2四半期（累計） 自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	前期（ご参考） 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高	13,904	14,315	30,669
売上原価	7,386	7,835	16,649
売上総利益	6,517	6,480	14,019
販売費及び一般管理費	6,577	6,721	13,464
営業利益（損失）	△ 59	△ 240	554
営業外収益	40	79	128
営業外費用	360	299	388
経常利益（損失）	△ 379	△ 460	294
特別利益	0	2	71
特別損失	22	41	47
税金等調整前四半期純利益（損失）	△ 401	△ 499	318
法人税、住民税及び事業税	51	110	271
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	−	△ 13	9
法人税等調整額	35	△ 11	△ 508
少数株主損益調整前四半期純利益（損失）	△ 488	△ 585	545
少数株主利益	2	4	8
四半期純利益（損失）	△ 491	△ 590	537

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期（累計） 自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	前第2四半期（累計） 自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	前期（ご参考） 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	384	306	1,110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 753	△ 451	△ 682
財務活動によるキャッシュ・フロー	696	172	391
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 209	△ 143	△ 112
現金及び現金同等物の増減額	118	△ 116	707
現金及び現金同等物の期首残高	3,553	2,846	2,846
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,672	2,730	3,553

■フラットベルト式タイヤ試験機

風洞用ムービングベルトの開発で得たノウハウをタイヤ試験機に応用し、タイヤの接地面が実際の路面に近いフラットベルト上でタイヤに働く応力など様々な計測を行えるフラットベルト式タイヤ試験機の開発に取り組んでいます。その特長は次の通りです。

・高度な蛇行制御による直進路面を実現
・エアベアリングによるフラットなタイヤ接地面
・クラック検出機構による安全設計
・MBS（Model Based Sensor）技術による高精度なタイヤ分力測定
・コンパクトな外形サイズ

さらに最新機においては、一輪でのタイヤ、もしくはサスペンション付属タイヤを用いて様々な計測を行うことを可能とし、WFS（ホイル6分力センサ）との組み合わせにより、車輪にかかる力をダイレクトに測定することが可能です。

フラットベルト式タイヤ試験機

風洞用ムービングベルト

六分力データ

■医療ICTへの取り組みの一例

宮城県南三陸町では津波の影響でカルテやお薬手帳が消失した結果、血圧など慢性疾患の管理ができず、心血管疾患のリスクが増大しています。また避難生活のストレスが血圧上昇につながり、震災前のように薬が手に入るようになっても依然として血圧が高い状態が続いている人が多いのが現状です。

一方、現地の医療スタッフの手が足りず、ハイリスク患者の発見やきめ細かな管理までは手が回らない実情があります。

そこで自治医科大学循環器内科と南三陸町医療統括本部の主導で、被災者に渡した血圧計や避難所に設置した血圧計から、現地と外部の医療機関にデータを送り、遠隔医療支援を実施しようという新たな試みが始まりました。

避難所に設置されたネットワーク対応全自動血圧計「診之助」

据え置き型の血圧計は携帯電話のデータ通信機能を用いて測定したデータを自動送信でき、また個人用血圧計もブルートゥース通信機能を搭載しており、対象者が診療所を受診した際に、診療所のパソコンに自動転送できるもので、どちらを使う場合でも個人の認証はあらかじめ対象者に渡しておいたカードで行うため、現地の医療スタッフが名簿の照合や血圧データの聞き取り、書き写し、データ入力、送信などに時間を割く必要がなくなります。また同時に外部の医療機関で高リスクで早期の治療を必要とする人を抽出し、介入することが可能となります。

当社はこのプロジェクトに通信機能付き血圧計を提供し、新たな遠隔医療の試みを支援しております。

■所在地　東京都豊島区東池袋三丁目23番14号
■設立　昭和52年5月6日
■従業員　689名
■資本金　6,388,527,500円
■株式の状況

① 発行可能株式総数　40,000,000株
② 発行済株式の総数　22,435,500株
③ 株主数　4,704名
④ 大株主の状況（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
エー・アンド・デイ従業員持株会	1,785千株	8.83%
ビービーエイチ フォー フイデリテイー ロープライス ストック フアンド	1,636	8.09
㈱フルカワ	1,533	7.58
ビービーエイチ オツペンハイマー クエスト インターナシヨナル バリユー フアンド	1,401	6.93
ビービーエイチ オツペンハイマー マスター インターナシヨナル バリユー フアンド エルエルシー	737	3.64
㈱埼玉りそな銀行	606	3.00
古川陽	490	2.42
㈱足利銀行	490	2.42
日本マスタートラスト信託銀行㈱（信託口）	474	2.35
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱（信託口）	373	1.84

（注）1. 自己株式（2,213,184株）は除いて記載しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

⑤ 重要な子会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
研精工業株式会社	81,800千円	100.0%	電子天秤及び医科用医療機器の製造
リトラ株式会社	200,000千円	100.0%	インジケータ、ロードセル及び電子式台秤の製造
株式会社オリエンテック	268,640千円	100.0%	計測機器の製造
株式会社サム電子機械	330,000千円	100.0%	各種試験装置の開発、製造、販売
株式会社ベスト測器	20,000千円	100.0%	環境計測機器の製造販売
A&D ENGINEERING, INC.	200千米ドル	100.0%	当社製品の販売
愛安德電子(深圳)有限公司	45,000千香港ドル	100.0%	家庭用電子血圧計及び計量機器の製造
A&D RUS CO., LTD.	505,247千露ルーブル	100.0%	電子計量機器、健康機器の販売

取締役及び監査役

代表取締役　古川陽
取締役　森島泰信
取締役　江頭昌剛
取締役　行成洋二
取締役　中川常雄
取締役　八坂賢一郎
取締役　村田豊
常勤監査役　大嶋浩
監査役　清水昌信
社外監査役　綾克己

執行役員

執行役員社長　古川陽
常務執行役員　森島泰信
常務執行役員　江頭昌剛
執行役員　行成洋二
執行役員　中川常雄
執行役員　八坂賢一郎
執行役員　村田豊
執行役員　福沢隆一
執行役員　伊藤貞雄
執行役員　高田信吾
執行役員　高永義男
執行役員　古田晴幸
執行役員　板東修身